

《山木屋地区町政懇談会》

年月日 令和8年10月2日(金)

時 間 午後6時30分～午後8時00分

場 所 山木屋地区防災まちづくり拠点施設

町民出席者数 22名

- ① 開会：副町長
- ② 町長あいさつ：(内容省略)
- ③ 町役場出席者紹介
- ④ 懇談
講義「地域の防災を考える」川俣町総務課
令和8年度町政懇談会事前質問に対する回答
- ⑤ 閉会：教育長

○講義「地域の防災を考える」に対する質疑応答 ※講義資料は別紙

質問1 防災まちづくり拠点施設を使い、今の備蓄で十分かなどを検証する意味も含め、防災キャンプのようなことを検討してはどうか。

【総務課長補佐】

回答1 平時よりそういった訓練を積み重ねることで、実際に災害が起きた時に命を守る行動などに繋がる。自治会長含め、ご意見を伺いながら検討していく。

質問2 今回の説明は、いわゆる災害時の初動の部分の説明。震災当時も、初動のところは概ね成功していたと思っており、皆も既に心得ていること。問題なのはその後で、正確な情報が提供されないということ。それが無いのが一番住民を不安にさせる。その辺をしっかりとってほしい。

【町長】

回答2 震災時は、誰も経験のない原発災害ということもあり、情報が錯綜していたため、いわゆる公助では正確な指示が出せなかった。やはり、一番は自分たちでどこまでできるのかということ。いただいた意見は今後活かしていきたい。

質問3 本日の講義の趣旨は、過去の教訓から、地域で自主防災組織を作ってほしい

ということか。

【町長】

回答3 ぜひ作っていただき、避難の訓練などもできれば幸いと思っている。

○事前質問に対する回答、その他意見交換 ※事前質問なし

質問1 山木屋地区防災まちづくり拠点施設について、名称が長い、名称の募集はしたのか。

【原子力災害対策課長】

回答1 名称の募集等はしていない。交付金の事業名を施設名称としている。

質問2 除染が終わった県道62号線について、穴が開いている箇所がある。先日、県のパトロール車が来たので聞いてみたところ、環境省で直すと言っていたが、早く修繕してほしい。

【建設水道課長】

回答2 県道については、道路管理者である県へ、強く要望していく。

質問3 防災無線について、災害が起きそうな時などに放送されると思っているが、選挙に関する放送を流すのは何故か。

【町長】

回答3 名称が防災無線となっているが、災害時に限らず、例えば熊の情報など、町民の皆様に伝達すべき情報について放送している。

質問4 避難解除から10年を迎える。移住者は若干名いるが、今後帰還者数が増える可能性は低く、山木屋地区の高齢化はますます進んでいくと思われる。帰還した住民が安心して生活できる環境づくりをお願いしたい。また、このような状況を作った国に対しても、今ここに住んでいる人たちが安心して最後まで暮

らせるような施策を強く求めていただきたい。

【町長】

回答 4 先日、細野復興大臣が川俣町に来町した際に要望書を提出し、予算を減らすことのないよう求めた。今後も、引き続き国に強く求めていく。

質問 5 国道 114 号線について、福島市内は年に 2 回ほど草刈りをしているようだが、町内で草刈りしているところをあまり見たことがない。以前川芎の一部を実施したことはあったが、それ以降実施されていない。菅ノ又から行合道までの歩道で草が生い茂っている状況。管理をお願いしたい。

【町長】

回答 5 近々、県北建設事務所との協議があるので、そこで再度要望する。

質問 6 国道、県道沿いに防犯灯を設置してほしい。

【町長】

回答 6 県と協議していく。

質問 7 来年 3 月に復興の記念イベントを行う計画があると聞いたが、もっと別なところに予算を使うべきではないのか。

【町長】

回答 7 復興ではなく、避難解除から 10 年という節目で行うもの。目的は、一つは風評払拭。10 年が経過し、日常生活ができるようになったこと、営農再開が進んでいるということを発信していきたい。もう一つは、支援をいただいたことへの感謝。全国から様々な支援をいただき、10 年でここまで来たということを発信したい。また、交流人口の増加にも繋げたい。他の被災 12 市町村でも、同様のイベントは行っている。反対の意見もあるが、常に情報を発信していくことは重要と考えている。山木屋地区の皆様が、やるべきでない、という考えであれば、やむを得ないと思うが、町長としては前向きに考えている。

質問 8 グローバルピッグファームからの悪臭が、最近また頻繁に広がっている。もう一度、解消するように努力していただきたい。

【町民税務課長】

回答 8 昨年度、業者の方で脱臭装置の設置を行ったが、やはり臭いが収まってないということで、今年度については毎月脱臭対策の報告書を町の方に提出してもらっている。5月、6月、7月頃は執行役員が定期的に来て、直接現地で臭いを確認したが、その頃は思ったより臭いはないと言っていた。8月からは、糞を入れるコンポストの囲い工事を始めたという報告をいただいている。今まで上部の屋根に隙間が空いていたが、そこを全てビニールハウスのような形で囲い、そこで臭いを集め、脱臭装置を通して外に排出するというもの。まだ完成の報告は来ていないが、完了した後の状況を含めて、住民説明会で説明するよう、求めている。

意見 1 田代分校跡地に、分校時代に設置されたネットフェンスと遊具の支柱がずっと残っていたが、撤去いただいたことに感謝申し上げる。

質問 9 高齢化や防災など、全てに関わると思うが、交通手段の問題について、道路交通法の改正で、無人タクシーや無人バスが可能になる。都内では実験が始まっているが、一番役に立つのは中山間地域や過疎地ではないかと言われている。イノベーションコースト構想なども活用できる事業かと思うので、浪江町のように積極的に検討いただきたい。

【町長】

回答 9 購入は難しいが、今後、テストなど含め検討していきたい。

質問 10 防災計画について、以前台風で公民館が避難所になった時、高齢者の一人暮らしの人などは、なかなか公民館に来られない。そういった点を考慮した計画をお願いしたい。

【町長】

回答 1 0 災害時は役場職員の支援も限られてくる。だからこそ自主防災組織を作り、地域の皆様に話し合ってもらいたい。

質問 1 1 町のスポーツクラブで、パークゴルフ場建設の要望書を出したと思うが、その結果を聞きたい。

【町長】

回答 1 1 大変広大な土地と費用がかかることもあり、現時点では計画には上がっていない。